

# いしかり「防火」通信

## 夏の火災と対策方法

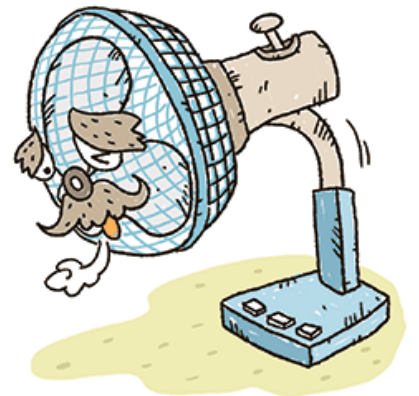
気温も高くなり、いよいよ夏本番を迎えようとしています。皆さんは夏に特有の火災があることをご存知でしょうか。湿度の高い夏でも注意が必要な火災があります。今月号では夏に特有の火災とその対策方法についてご紹介します。

### 夏の火災①

### 扇風機の火災

夏の暑さを乗り切るための必需品である扇風機ですが、長年に渡って使用している扇風機は、火災の原因となってしまうことがあります。

扇風機の火災で多いのは、**経年劣化による出火**です。外観は異常が無いように見えても、首振り機能などで内部配線が繰り返し折り曲げられて断線し出火した火災や、モーター部品が劣化してスパークが発生して出火した火災などが発生しています。



### 対策方法：異常が無いかこまめに点検！

扇風機は構造が単純で壊れにくい電化製品のため、長年に渡り使用しがちですが、設計上の標準使用期間は10年程度となっています。標準使用期間を超えて使用する際は、経年劣化によるリスクが段々と高まっていることに留意し、異常が無いかこまめに点検するようにしましょう。そして、異常を確認した際は、すぐに使用を中止し、メーカーや販売店に相談しましょう。

### <こんな異常に注意！>

- ・スイッチを入れても、**羽根が回らない**
- ・羽根が回っても、**回転が不規則**だったり、**異常な音や振動**がする
- ・モーター部分が**異常に熱くな**っていたり、**焦げくさい臭い**がする
- ・電源コードが**折れ曲が**っていたり、**触れると運転が不安定**になる

## 夏の火災②

# エアコンの火災

最近の蒸し暑い夏を乗り切るため、北海道でもエアコンを設置している家庭が多くなっていますが、不注意や誤った使用方法が原因で火災が発生しています。

エアコンの火災では、市販の洗浄スプレーを使用して内部洗浄をした結果、**電気基盤などに液体が触れて出火**するケースや、接続した延長コードの**定格消費電力超過により発火**するケース等があります。



### 対策方法①：事前によく確認しましょう！

洗浄スプレー等の液体を使った内部洗浄を実施する際は、事前<sup>に</sup>取扱説明書を読み、内部の構造を十分に理解するようにしましょう。

**各メーカーは「お客様自身で室内機内部の洗浄をしないこと」と警告しています。**多少お金がかかってしまいますが、メーカーや取扱店舗に問い合わせ、**専門業者に依頼**すると安心して使用できます。

### 対策方法②：電源プラグをチェック！

電源プラグは延長コードを使用せずに**専用のコンセントに直接**つなぎましょう。エアコンは消費電力が大きいため、延長コードの定格消費電力（「合計1,500Wまで」等の表示がされています。）を超えてしまい、発熱や発火する恐れがあります。

また、電源プラグは**定期的に埃を掃除し、使用しない期間はコンセントから抜いておく**ようにしましょう。

#### <こんな異常に注意！>

- ・電源コードや電源プラグが**異常に熱い**
- ・電源プラグが**変色**している
- ・**焦げくさい臭い**がする
- ・ブレーカーが**頻繁に落ちる**



発行：石狩消防署予防課

〒061-3211 石狩市花川北1条1丁目2番地3

Tel 0133-74-7165

Fax 0133-74-9814



ホームページ



ツイッター